

—すべてのいのちに平和な地球を—

第35回 多摩市 平和展

2026年8月16日(日) - 23日(日) 10:00~18:00
会期中無休・入場無料・申込不要
パルテノン多摩

今の世界は怖いですか
あなたの声は平和をつくる



風船爆弾 気密度検査 (満球テスト)
記録作家林えいだい 記念ありらん文庫資料室所蔵
明治大学平和教育登戸研究所資料館提供

風船爆弾とは旧日本陸軍が1944年～45年に開発・製造した「決戦兵器」です。直径約10mの気球に爆弾を搭載し、日本各地から約9300発がアメリカ本土へ向けて放たれました。製造には勤労動員された女学生たちが深く関わっていました。

上映・トーク 8月21日[金] (開場 13:30) 14:00~16:00

『ぼくは風船爆弾』上映とトークショー (映画字幕あり) (トーク手話・要約あり)

松村克弥 監督 城之内正明さん(出演者)

- 映画『ぼくは風船爆弾』原作者・出演者が語る戦争の残酷さと平和への想い
- 明治大学平和教育登戸研究所資料館企画展 風船爆弾作戦と本土決戦準備—女の子たちの戦争—

講演 8月16日[日] (開場 10:00) 10:30~12:30 (手話・要約あり)

多摩市平和展連続講演(第13回)

1945年8月「空白の2週間」を探る～戦争と占領の間～

[講師] 山田朗さん(明治大学文学部教授・明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

上映・講演 8月16日[日] (開場 13:30)

① オープニングイベント 14:00~14:10 (手話・要約あり)

② ドキュメンタリー上映 14:10~15:00

③ 講演 15:10~16:40 (手話・要約あり)

戦争が人間にもたらす深く長い影と傷～復員日本兵、その家族とPTSD～

黒井秋夫さん(PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会)

- 広島基町高校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」
- 高校生から平和へのメッセージ～沖縄への修学旅行から～
- 明星大学熊本ゼミ成果報告パネル

8月17日[月]・18日[火]・19日[水] (開場 12:30) 各回13:00~14:00

若い人々への伝言～語り継ぐ戦争体験

8月17日[月] (開場 14:15) 14:30~15:40

高校生による平和学習の報告と平和絵本のお話会

8月18日[火]、19日[水] (開場 14:15) 14:30~15:00

平和関連の絵本などの展示とミニお話会

8月20日[木] (開場 11:00) 11:30~12:30 (開場 13:30) 14:00~15:00

広島基町高校卒業生が語る「原爆の絵」と平和への想い

8月22日[土] (開場 10:00) 10:30~12:30

紛争地での挑戦

[講師] 山崎琢磨さん(認定NPO法人アクセプト・インターナショナル コミュニケーション局長)

8月22日[土] (開場 14:30) 15:00~17:00

朝鮮戦争と多摩周辺の米軍基地～多摩弾薬庫を中心に～

[講師] 神子島健さん(東京工科大学教授)

8月23日[日] (開場 13:30) 14:00~16:30 (手話・要約あり)

令和8年度 多摩市子ども被爆地派遣成果報告会

- アクセプト・インターナショナル 特別パネル
- 多摩火工廠とその後の変遷
- 令和7年度派遣事業成果報告 作文・活動アルバム

多摩市公式ホームページ

